

銚子ヶ谷湿原のヒラサナエ

上田尚志

美方郡村岡町の蘇武岳の銚子ヶ谷湿原で、ヒラサナエ *Davidius moiwanus tarui* Asahina et Inoue の棲息を確認したので報告しておく。この湿原は1991年に林道予定コースで発見されたカキツバタ自生地で、当時すでに木下賢司氏より「サナエトンボがたくさんいた」との情報を得ていた。筆者は、高原の湿原であることからヒラサナエがいる可能性があると考え、調査をした。

1992年5月30日、湿地中のオタカラコウの葉上で1個体の成虫と羽化殻1個を確認したが、それ以上は確認できず、時期がやや早いと思われた。

二週間後の6月13日には、オタカラコウの葉上に静止する多数の成虫を確認した。小昆虫をオタカラコウの葉上で摂食している個体もみられた。飛翔することは少なく、飛び立っても、すぐに付近の草に静止した。湿地内の浅い水路に沿って、羽化殻も多数確認できた。オタカラコウの葉上にある羽化殻もあったが、多くは植物の低い位置でみられた。6月20日の調査では、オタカラコウの葉上で2個体の成虫を確認した。

村岡町兎和野高原では、5月の連休の時期に多数の個体の羽化を観察しているので、但馬におけるヒラサナエの羽化時期は、地形や積雪量などによりかなりずれるのではないかと考えられる。

〈データ〉

蘇武岳銚子ヶ谷湿原（美方郡村岡町）

1992-V-30	1 ♂	
1992-VI-13	2 ♂♂, 2 ♀♀	目撃（多数）
1992-VI-20	1 ♂, 1 ♀	